

Cover
the
Globe!

[日東製網の経営理念]

創意・誠実・努力

私たち日東製網は、「創意」「誠実」「努力」を企業活動の基本理念とします。

安全、安心な環境づくりを目指して。

次なる100年へ向けての、初心。

私たち日東製網は、世界初となる“無結節網”を開発し、網業界のパイオニアとして100年の時を歩んでまいりました。

この長い歴史の中でお客さまと共に培ったノウハウを活かしながら、私たちは次なる時代へ向けて「世界の網を無結節に」を合言葉に、海から陸上までの全フィールドにおいて皆さまの安全・安心な環境づくりに貢献していきたいと考えております。

そして「網」のプロフェッショナルとして、技術と情熱で皆さまの信頼と時代のニーズにお応えすべく、安定的で継続した企業価値の創造に挑戦します。

[日東製網のミッション]

無結節網のパイオニアとして、高品質な製品のご提供を通じ、世界中の人々の安全・安心な生活環境づくりに貢献していくことが私たちの使命であると考えます。

[日東製網のビジョン]

「世界の網を無結節に」をスローガンに社員一丸となり、皆さまのご要望にスピーディーにお応えしながら、安定的かつ継続的な企業の成長を目指します。

[日東製網のバリュー]

創意／自ら考え行動し、新しい企業価値を創造します。

誠実／皆さまに信頼され続けるよう、法令を遵守し社会的責任を全うします。

努力／あらゆるニーズにお応えすべく、技術と情熱で全力を尽くします。

挑戦／失敗と変革を恐れず、個人と企業の向上に挑みます。



[代表挨拶]

当社は、社会に有益な「独創性のある製品」を、より高品質かつ低コストに作る事が製造業者の社会的使命であると考えております。

そして「網」業界のパイオニアであることを誇りとして、

「創意と実践」を重んじ、製品開発と市場開拓に取り組んでおります。

営業面におきましては、漁網の製造・仕立てと各種省力化機械の開発・販売を通じて、

創業以来蓄積してきた世界に冠たる水産国日本の智慧と経験を

近代科学の力で補強して次の世代に正しく伝えること、

合わせて先進漁業国の漁法を紹介し、水産業の発展に寄与すべく

「提案型」かつ「ソフト重視型」の営業を実践しております。

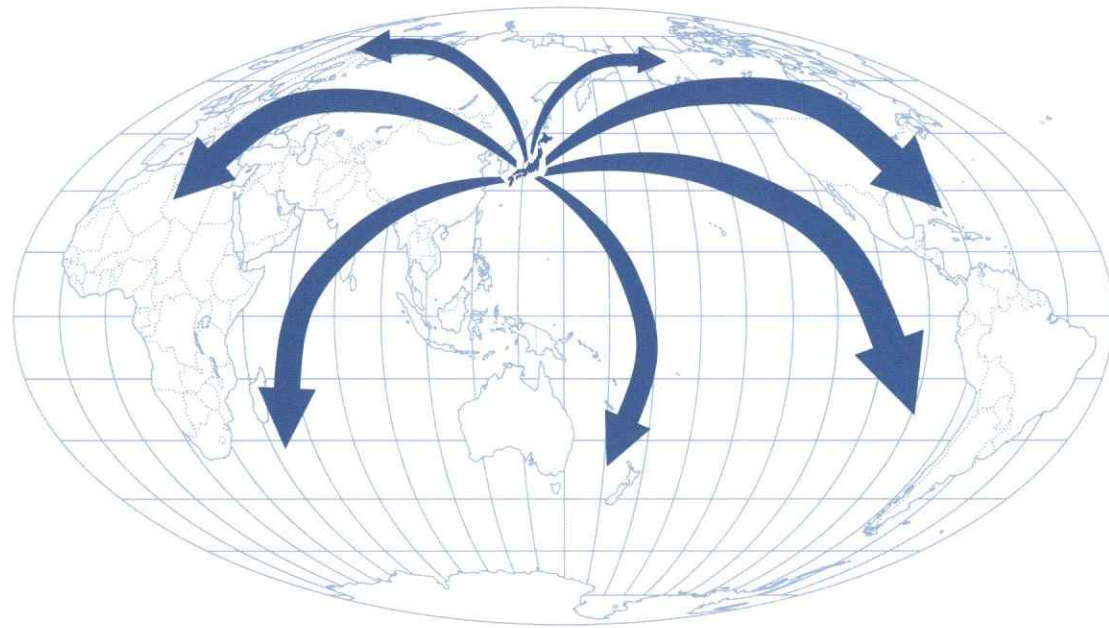
代表取締役社長

小林宏明



海外関連事業

水産業界では、海外生産・調達の必要性が高まっています。グローバル企業として、独自のネットワークを駆使したノウハウを武器に海外関連事業を展開しています。



輸出

定置網・まき網・トロール網を始め、フロート・ロープといった漁具、他に船舶・製氷機・食品加工機等を各国に輸出しています。無結節網において高いシェアがあり、マグロ畜養にも実績があります。主な取引先として、アジア各国をはじめ、チリ・ニュージーランド・ノルウェー・スペイン・アメリカ・カナダに提供しています。各製品は、独自に開発したもので、高品質を誇り、お客様のニーズに合わせた提案が可能です。

輸入

漁業資材では、まき網用フロート及び金具・ナイロンタイヤコード、陸上資材として、ステンレスワイヤー／中国及び韓国よりポリエチレン有結節地／農業資材として結束用資材等、多岐にわたり輸入・販売をしております。近年では、活魚搬送用の曳航イネスといった養殖資材にも力をいれております。長年にわたり、各国のメーカーと培ってきた経験を生かし、国内の要望に満足頂ける商材を吟味しお客様にお届けします。

ネットワーク・コーディネート事業

アジアを中心とする養殖事業の拡大に積極的に関わり、日本を含むアジア各国の養殖業者・飼料メーカー・種苗業者・漁業者・流通業者等とのネットワークを通じて人・物・資金・情報・ノウハウを有効に結びつけることで、近代的な養殖事業の構築と競争力を維持しつつ持続的な生産拡大に向けた取り組みをサポートしています。生産物の流通・販売を含め、トータルコーディネートを展開しております。

調査・研究開発事業

多様な環境で「求められる網」を材料の研究・現場環境の調査を基に開発しています。



海洋調査

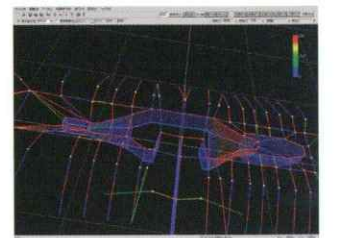
定置漁場或いは養殖漁場を設置するには、事前に何を知らないといけないでしょうか？海から糧を得る漁業としては、その海自体を知ることは必要最低限の要件でしょう。

日東製網は、水中カメラロボットを始め、長期記憶型潮流計、GPSとコンピュータ自動計算を応用した海底地形図といった様々な機材と資料で海を分析・評価し、お客様へ最善の網をプロデュースします。



NaLAシステム

NaLAとは、これまでにない新しい網地形形状シミュレーションシステムで、近畿大学の高木力准教授との産学連携により開発されました。本システムは、実際には見ることも難しい水中の漁具全体像や、任意の流向・流速による網成の変化を数値計算により三次元の動画としてパソコン画面に表示し、網容積や網到達深度、ロープへの荷重などの解析を行うことが可能となります。このNaLAシステムにより当社では新網や改造網の設計段階から水中形状を事前に予測・再現することで、お客さまのご要望に沿った当社の考える最適な漁具をご提供させて頂くことが出来るようになります。



新素材

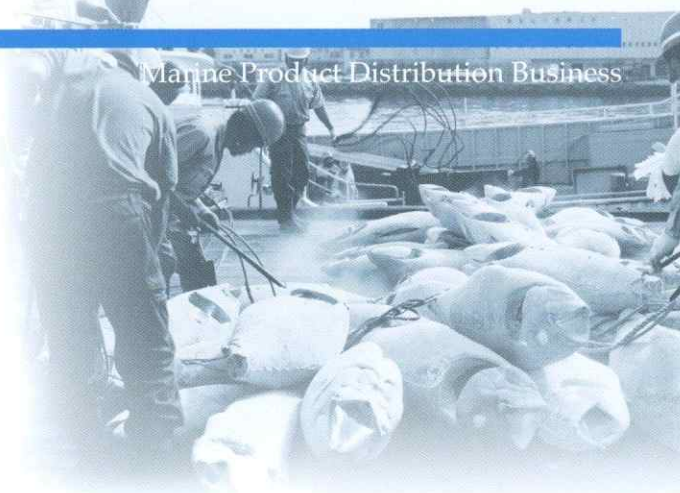
家庭から海洋、陸上、宇宙と網の使用される分野の広がりにもない、網に要求される仕様は複雑かつ多様になっています。その仕様を満たす網を開発する上で、材料は重要な要素であり、独自の新素材開発や材料業界の動向を調査し製品を開発しています。これまでに、網の太さは同じで強度を上げるために超高強度繊維の採用や、使用中だけでなく廃棄時の環境負荷低減を実現する紙製網の商品化に成功しています。

新商品開発

お客様から頂きますお問合せやご要望を網の特徴や構造に活かした商品開発をしています。例えば、網は目を閉じると面積が小さくなり目を開くと大きくなる特徴を活かした買い物袋や、繊維を細くして網目を大きくすると絡み易くなる構造を利用した防犯装置、また導電性や高強力性が求められる場合には新素材を用いるなど、網の持つ可能性を追求して商品開発をしています。

水産物流事業

日本の浜で揚がったばかりの鮮魚・活魚から
海外の冷凍水産物まで幅広く取り扱っています。



鮮魚・活魚



沿岸漁業の持続的発展について漁網メーカーの視点で検討を重ねました結果、何よりも漁業収入の向上(鮮魚・活魚の高付加価値化の推進)が鍵になると考えました。そこで弊社では、鮮魚チームを設置し「漁場の活力増強作戦」と題しまして、漁獲物に対する「漁業者の意識変革」と「漁獲物の商流改革」に乗り出しました。

漁業者と共に、漁獲作業→選別→鮮度重視出荷作業から販売までを行うことにより、漁業者の工夫、努力が魚価向上に繋がるよう取り組んでいます。

冷凍魚

ロシア極東海域で漁獲された新鮮な甲殻類を船上急速凍結した製品を中心とした外国産冷凍水産物、国内で漁獲される沿岸魚を新鮮さもそのままに急速凍結した製品等、輸出入・国内流通の全般にわたって皆様の食をサポート致します。



主要取扱い品目

ズワイガニ、タラバガニ、ナンバンエビ、
ボタンエビ、サバ、スケソウダラ

飼育料

当社は、日本鮭延縄漁船向けに、
安価で品質良好な冷凍餌料を供給しております。



- 【日本産】 ムロアジ、マイカ、マサバ、コノシロ、サンマ等々
- 【外国産】 ムロアジ、松イカ、イワシ、ミルクフィッシュ、ヤマトミズン等々
- 【国内での主な仕込み港】 気仙沼港(宮城県)、清水港/焼津港(静岡県)、三崎港(神奈川県)、串木野港(鹿児島県)等々
- 【外地での主な仕込み港】 シンガポール、ラスバルマス(カナリア諸島)、ポートルイス(モーリシャス)、バリ島(インドネシア)、ホノルル(ハワイ諸島)、ハリファックス(カナダ)、カヤオ(ペルー)、ケープタウン(南アフリカ)、パナマ、オークランド(ニュージーランド)等々

環境事業

日東製網グループは
「環境負荷物質低減活動」を通じて、
次世代の子どもたちのために
大切な地球を守る運動に取り組んでいます。

PECO



長イモネット



繊維は、20世紀に天然素材から化学繊維の時代へと変わりました。そして21世紀「環境の時代」を迎え、繊維にも“Earth Friendly”という新たな機能が求められています。日東製網は「天然素材100%の紙」を使用した、高い環境適合性能を持つ「無結節網」を世界に先駆けて開発しました。独創の無結節構造による高い強度はそのままに、水に強く、廃棄時には土に還ります。

2004年からJ1リーグのサッカーゴールネットとして採用されているほか、スポーツネットや農業資材として採用されています。

アミーゴ

スーパーやコンビニのレジカゴにかぶせるだけ。商品を入れてレジカゴから外せば、今日から詰め替え手間なしのラクラクお買い物&お持ち帰り。「マイバッグ持参でエコロジー宣言」1年間に全国で300億枚が配布されているレジ袋。そのおよそ30%が再利用されずにゴミとして捨てられています。「Shopping網(アミーゴ)」は漁網生まれ。洗濯可能でいつでも清潔。



宇宙事業



軌道にあるデブリ(宇宙ゴミ)は、それ自体が使用中の衛星に衝突して破壊するという危険があるだけでなく、デブリ同士の衝突によってさらに多数の微小デブリを撒き散らす危険もあります。衝突によって生じたデブリがさらに衝突を繰り返すことによってデブリの数が指数関数的に増加してしまい、もはや宇宙は危険で利用できない、ということにならないよう、早急な対策が必要とされています。使用済みあるいは故障した衛星やロケットなどを除去する「デブリ除去システム」は、デブリ問題を根本的に解決することのできる手段です。

日東製網は無結節網技術を活かし、2013年の実用化を目指してJAXAと共同でデブリ除去システム開発に取り組んでいます。

陸上関連事業

ご家庭の網戸や各種スポーツネット、建設現場から農業用途に至るまで、様々なシーンで御利用頂ける製品を提供致します。

防虫網



リヒレンVは当社グループ会社の(株)泰東独自の技術によって開発された高耐候・高強度のポリオレフィン原糸です。リヒレンVは、従来防虫網用として一般的に用いられていた塩ビと異なり、焼却しても有毒なガスを発生しません。1975年からいち早く環境に配慮し、防虫網専用原糸を使用して環境に優しい防虫網を創り出しました。

[リヒレンVの特徴]

引っ張り強さが大きく、紫外線による劣化が少ない。→ 丈夫で長持ち
独自の技術で良質な糸を実現。→ シワになりにくい
バランスよく織り上げ、高温で熱処理。→ 目ズレが発生しにくい

柔軟な糸質ながら適度な硬さがある。→ 張り作業性良好
収縮が少なく寸法の安定性が良い。→ 網外れがない
万一燃焼しても有毒ガスがでない。→ 環境に優しい

防球ネット



防風・防砂ネットで長年ご使用いただいておりますリヒレン原糸を更にバージョンアップ!

高強度・高耐候性ポリオレフィン繊維を用いた、スポーツネットでは初めての素材です! NITTO&TAITOのコラボレーション!

“リヒレン防球ネット”いよいよデビューです!

土木・建築用ネット

ネットのトップメーカーとしての長年の知識と豊富な経験により、設計から施工、修理にいたるまで一貫して行います。安全を第一に、地形・気候・環境に配慮しつつ、景観に溶け込む美しいご利用環境をご提案いたします。

獣害防止ネット



野生動物の侵入による森林や農作物への被害は深刻です。私たちの考案した野生動物進入防止ネットは山奥での作業効率も考慮し極力軽量化した合理的なネットです。更に近年鳥害による衛生被害が拡大してきました。防鳥ネットは水産漁港や養鶏場、穀物貯蔵施設まで幅広く利用されており、食の安全、環境衛生に大きな役割を果たしています。

その他ネット

自然災害から安全な暮らしをガードするため、各種工法による事業も展開しております。

漁業関連事業

視点は常に漁撈の現場。
そこで積み重ねた経験と培ったノウハウをベースに
最新の技術を駆使してお客様の様々なご要望にお応えします。

定置網

私たちは無結節網メーカーという事で、定置網漁業者の皆様と共に1世紀近くを歩んでまいりました。長年の経験による網製品、関連資材のご提供だけにとどまらず、漁場設定、漁場調査、漁場にあった網の設計、仕立といったソフト面のサポート、更には漁獲された魚の販売や販売先のご紹介をさせて頂き、定置網経営のお手伝いをさせて頂きます。



旋網

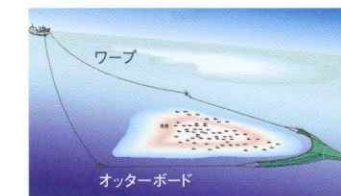
旋網は、狙った魚群を素早く包囲するために全速力で投網し、手早く網を巻き揚げ漁獲するダイナミックな漁法です。そのため漁具やそれを支える各部には相当の負荷が掛かります。私たちは長年の経験と最新のシミュレーション技術を駆使し、安全でコストパフォーマンスに優れた漁具のご提供だけでなく迅速な修理・補修、整備体制により安心して長くご使用していただけるようサービスの充実に努めております。



曳網

底曳網漁法は大きく次のように分けられます。

- かけまわし式: 浮標樽を投入し、ロープ・網・もう一方のロープの順に四角形に打ち・まわし・樽を上げてロープの幅を狭めながら網を曳航して底棲魚介類を漁獲する底旋網漁法です。狭小な漁場でも掬いどりが可能で、比較的海底を荒らさない、環境に優しい漁法です。
※当社は北海道から西日本地区までの全国各地の沖底かけまわし船に40数年に亘って漁具を設計販売をしてきた実績があり、現状最適な漁具資材を提供いたします。
- 板曳式: 曳航することによって水流で水平方向に網を拡げる拡網板(オッターボード)を使用する漁法です。ワープの長さ調整により表層曳・中層曳・着底曳が可能です。
※この漁法は5トン未満から数千トンクラスのトロール船まで様々なクラスで採用されています。曳網(ワープ)・拡網板(オッターボード)・グランドロープ・トロール網・コード・エンド・トータルで漁具設計します。これも数十年間、5トン未満から5000トントロール船に漁具を提供してきた実績に基づいたものです。
- 2艘曳: 2隻の船が左右に分れ一定間隔を保ちながら1つの網を曳航する漁法です。
- 桁曳: 強制的に網口を広げる桁(ビーム)を有します。ビームトロール網。
- パッチ網: パッチ網とは網船2隻と、魚探・運搬を担う運搬船の計3隻1チームで、かたくちイワシ(イリコ)・チリメン・イカナゴを大きな袋状の網で海中中層部分を曳いてとる漁法です。フルスピードで曳きながら走るため、強力な網地「緞網(もじ網)」が求められます。当社はスーパー繊維を使用した網を開発し、さらなる提案を行っています。



養殖網

現在、西日本を中心に、鮪や真鯛など様々な魚種の養殖が沿岸域で行われています。我々日東製網は長年の経験や最新技術を取入れ、ユーザーに御満足頂ける網や資材を設計販売しております。また資材の供給のみでなく、漁場調査による漁場検証や漁場紹介、養殖施設の設置工事、養殖魚の販売など、養殖経営のトータル面でサポートさせて頂いております。最近では沖合養殖を視野に入れた浮沈式養殖施設の技術開発にも取り組んでおります。



海苔網

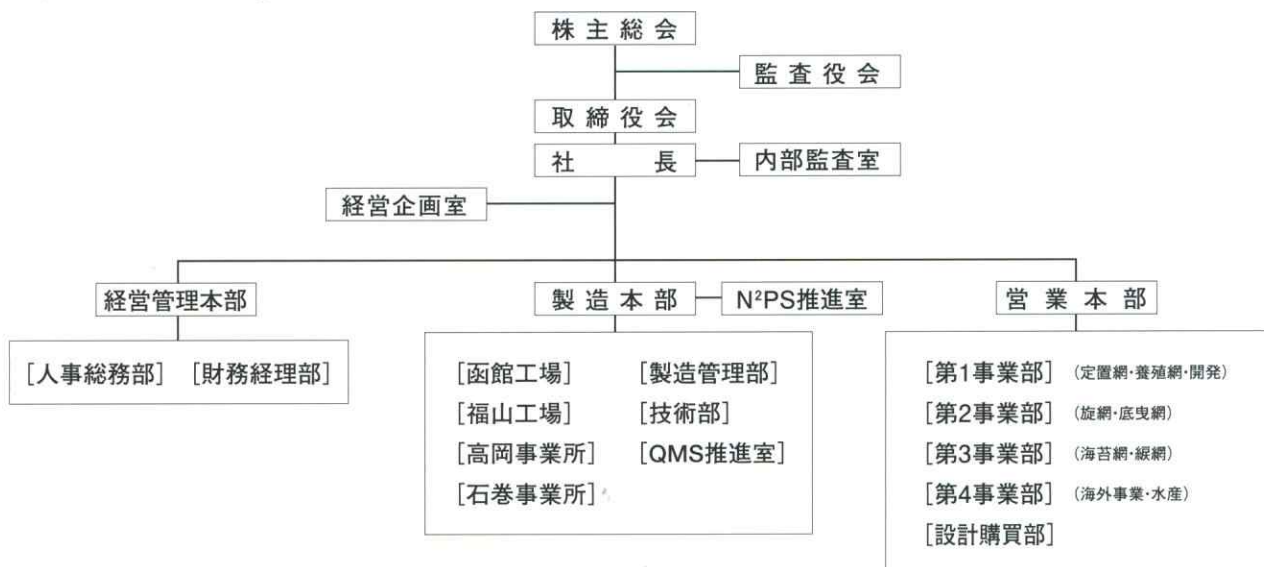
当社の海苔網は唯一の無結節海苔網です。無結節網の長所である下記の特徴が広く認められ、全国の海苔生産者の方々に使用されています。
◎身網、耳網を一体製網した海苔網で摘採時、刈り機に海苔網が引っ掛からず海苔網を傷めにくい。
◎結節が無いので刈り取りがスムーズで結節部の擦れや、ささくれが主原因で発生する製品への「糸くず」が混ざる事が少ない。
◎重量が軽いので取り扱いが簡単。
その他、副資材も各種取り扱っております。



会社概要

会社名 日東製網株式会社
 英 訳 名 NITTO SEIMO CO., LTD.
 本社所在地 東京都港区新橋2丁目20番15-701号
 創 立 1910年8月(明治43年8月)
 決 算 月 4月
 資 本 金 1,378百万円
 発行済株式数 2,605千株
 上場取引所 東京・名古屋
 証券コード 3524
 従 業 員 285名(連結:895名):2022年4月現在
 売 上 高 14,396百万円(連結:18,373百万円):第121期(2022年4月期)
 役 員 [代表取締役社長] 小林 宏明
 [代表取締役専務] 山本 節夫
 [専務取締役] 高吉 良臣
 [常務取締役] 小林 重久(製造本部本部長)
 [取締役] 西郷 清彦(営業本部副本部長)
 [取締役] 北方 浩樹(経営管理本部本部長)
 [取締役] 野村 芳徳(営業本部本部長)
 [社外取締役] 岡 耕一郎
 [社外取締役] 杉之原 祥二
 [常勤監査役] 小柴 訓治
 [常勤監査役] 杉森 和夫
 [社外監査役] 立川 隆造
 [社外監査役] 佐藤 卓巳

[日東製網組織図]



[工場・営業所・事務所]

- 東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15-701号 新橋駅前ビル7階
東京営業所 TEL.03-3572-5376 FAX.03-3572-5370
- 福山本社 〒721-0953 広島県福山市一文字町14番14号
福山工場 TEL.084-953-1234 FAX.084-953-1240
福山営業所
- 高岡事業所 〒933-0941 富山県高岡市内免2丁目4番1号
高岡営業所 TEL.0766-21-2474 FAX.0766-21-2292
- 函館工場 〒049-0111 北海道北斗市七重浜1丁目3-1
函館営業所 TEL.0138-49-1420 FAX.0138-49-1425
TEL.0138-49-1511 FAX.0138-49-1522
- 網走営業所 〒093-0002 北海道網走市南2条東2丁目4-5
TEL.0152-44-7275 FAX.0152-44-7276
- 札幌営業所 〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西7丁目1番地 第一水産ビル3階
TEL.011-231-1800 FAX.011-221-2907
- 紋別事務所 〒094-0015 北海道紋別市花園町1丁目1番28号
TEL.0158-24-8518 FAX.0158-24-8514
- 釧路事務所 〒084-0912 北海道釧路市星が浦大通2丁目3番14号
TEL.0154-55-3575 FAX.0154-52-5170
- 石巻事業所 〒986-0024 宮城県石巻市川口町1丁目8番27号
石巻営業所 TEL.0225-22-6501 FAX.0225-94-0516
- 八戸事務所 〒031-0811 青森県八戸市新湊3丁目7-7 103号
TEL.0178-33-7151 FAX.0178-33-7060
- いわき事務所 〒971-8101 福島県いわき市小名浜字古湊120番地
TEL.0246-54-8371 FAX.0246-54-8378
- 九州営業所 〒846-0012 佐賀県多久市東多久町別府4248-1
TEL.0952-76-5200 FAX.0952-76-2700



福山工場



函館工場

[関係会社]

(株)泰東

- 本大阪営業所 〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2-7-18
TEL.06-6359-0052 FAX.06-6372-0994
- 札幌営業所 〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西7丁目1番地 第一水産ビル3階
TEL.011-231-2112 FAX.011-221-2907
- 仙台営業所 〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町4丁目2番25号
TEL.022-232-0895 FAX.022-232-0898
- 東京営業所 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15-512号 新橋駅前ビル5階
TEL.03-3572-3239 FAX.03-3289-5943
- 磐田管理センター 〒438-0202 静岡県磐田市高木1605-5
TEL.0538-67-1010 FAX.0538-67-1011
- 豊橋生産管理センター 〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池138番
TEL.0532-45-3111 FAX.0532-45-3119
- 新潟営業所 〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1635
TEL.025-287-3913 FAX.025-287-5029
- 高岡営業所 〒933-0941 富山県高岡市内免2丁目4番1号
TEL.0766-21-2477 FAX.0766-21-2187
- 福山営業所 〒721-0953 広島県福山市一文字町14番14号
TEL.084-981-1761 FAX.084-981-1762
- 下関営業所 〒750-0067 山口県下関市大和町1丁目7-1
TEL.083-266-6645 FAX.083-261-5425

日東ネット(株)

- 本社 〒935-0104 富山県氷見市堀田3147-1
TEL.0766-91-2474 FAX.0766-91-2555
- 道東工場 〒088-2304 北海道川上郡標茶町平和9丁目9番地
TEL.015-485-1671 FAX.015-485-1283
- 函館工場 〒049-0111 北海道北斗市七重浜1丁目3-1
TEL.0138-49-1420 FAX.0138-49-6990
- 石巻工場 〒986-0024 宮城県石巻市川口町1丁目8番27号
TEL.0225-94-7276 FAX.0225-94-0516

多久製網(株)

- 本社 〒846-0012 佐賀県多久市東多久町別府4248-1
TEL.0952-76-2531 FAX.0952-76-3672

日本ターニング(株)

- 本社 〒721-0957 広島県福山市箕島町6280-60
TEL.084-920-3359 FAX.084-920-3361

レデス・ニット・チリ・リミターダ

タイ・ニットウセイモウ・グローバルCo.,Ltd.

CNK(株) (株)温泉津定置 ヤマグチ(株) (有)吉田漁業部
(株)庄司政吉商店 その他3社

[沿革]

当社は、明治43年8月1日西備綴織株式会社として設立されましたが、東洋組網工業株式会社等との合併を経て、日東製網株式会社となったものであります。以下、概略を記載します。

- 明治43年 8月 西備綴織株式会社を設立。
- 昭和20年 8月 戦災により、福山市所在の工場が焼失。
- 昭和21年 2月 福山工場を復旧し、商号を日本製網造機株式会社に変更。
- 昭和38年 4月 東洋組網工業株式会社と合併、商号を日東製網株式会社に変更。
- 昭和38年12月 日東製網株式会社造機部を分離独立し、日本ターニング株式会社(現連結子会社)を設立。
- 昭和41年 5月 佐賀県多久市に子会社:多久製網株式会社(現連結子会社)を設立。
- 昭和43年 4月 広島県福山市一文字町に福山新工場を建設。
- 昭和48年 8月 東京証券取引所・大阪証券取引所・名古屋証券取引所の各市場第1部銘柄に指定。
- 昭和55年 7月 富山県氷見市堀田に仕立工場を建設。
- 昭和58年 9月 北海道川上郡標茶町に道東工場を建設。
- 昭和62年12月 南米チリ国に子会社現地法人:レデス・ニット・チリ・リミターダ(現連結子会社)を設立。
- 平成 4年 4月 富山県高岡市に子会社:日東企画開発株式会社を設立。
- 平成10年 8月 富山県氷見市に子会社:日東ネット株式会社(現連結子会社)を設立。
- 平成15年 5月 中国・浙江省平湖市に子会社:平湖日東漁具有限公司(現非連結子会社)を設立。
- 平成17年 4月 マルハグループ(現マルハニチロ(株))の泰東製網株式会社から営業の一部を譲り受け、海洋事業部門は、日東製網株式会社で引継ぎ、産業事業部門は、株式会社泰東(旧社名:日東企画開発株式会社)で引継ぎ、新体制で事業開始。
- 平成22年10月 丸紅株式会社の連結子会社であるベニートヤマ株式会社から事業の一部を譲り受け、日東製網株式会社及び多久製網株式会社で引継ぎ、事業開始。
- 平成24年 7月 タイ国に子会社現地法人:タイ・ニットウセイモウ・グローバルCo.,Ltd.(現連結子会社)を設立。
- 平成27年 3月 有限会社吉田漁業部(現連結子会社)の株式を取得。
- 平成29年 3月 CNK株式会社(現連結子会社)の株式を取得。
- 平成30年 3月 株式会社温泉津定置(現連結子会社)を設立。
- 平成30年11月 ヤマグチ株式会社(現連結子会社)を設立。
- 平成31年 2月 株式会社庄司政吉商店(現連結子会社)の株式を取得。

www.nittoseimo.co.jp



日東製網株式会社

[東京本社] 〒105-0004 東京都港区新橋2丁目20番15-701号 新橋駅前ビル7階
TEL:03-3572-5376 FAX:03-3572-5370

[福山本社] 〒721-0953 広島県福山市一文字町14番14号
TEL:084-953-1234 FAX:084-953-1240



JQA-QMA13688

製造本部
無結節網・緩網及び
ロープの設計・開発及び製造